



- 第7回通常総会・講演会
- 事務局からのお知らせ
- 委員会活動報告
- 新入会員紹介

■発行／一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp  
■URL／<http://misa.or.jp> ■企画・編集／広報委員会 ■印刷／ハリウ コミュニケーションズ株式会社



## 第7回通常総会開催報告

去る6月14日（木）第22回理事会終了後、午後2時10分より一般社団法人宮城県情報サービス産業協会の第7回通常総会が仙台市「TKPガーデンシティ仙台」において開催されました。

総会は早坂会長の開会挨拶、宮城県経済商工観光部次長の高橋裕喜氏（村井知事代読）よりの来賓挨拶のあと、早坂会長が議長に選任され、正会員数156社、出席会員数118社（内委任状提出43社）の1/2以上の出席により議事に入り、いずれも提案通り承認されました。

- 第1号議案 平成29年度事業実績について
- 第2号議案 同上 収支決算及び会計監査結果について
- 第3号議案 会費規程の見直しについて
- 第4号議案 平成30年度事業計画について
- 第5号議案 同上 収支予算について



通常総会に引き続き、RPAテクノロジーズ株式会社執行役員の林 淳一氏による、「働き方改革：日本型RPAの実態と今後の方向性」と題する講演会が開催されました。（講演会の一部別掲記事参照）

その後の230名を超える出席者のもとで恒例の交流会が開催され、大森理事の開会挨拶、東北経済産業局地域経済部の蘆田和也部長、仙台市経済局の岩城利弘次長からのご来賓挨拶、富樫顧問による乾杯の発声に引続いて懇談に入り、午後6半過ぎ、阿部副会長の御開きの辞を以ってすべての行事を無事終了しました。

## MISA 第7回通常総会 会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 早坂 栄二



開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は大変ご多用のところ、御来賓の皆様をはじめ多くの会員の皆様にご出席いただき誠に有難うございます。

平素より当協会の活動に格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本日の総会では平成29年度に実施しました「事業結果及び収支決算等」についてご審議いただくとともに、平成30年度に実施します「事業計画及び収支予算」についてご報告いたします。

また今年は「会費の改定」についてお諮りいたします。何卒宜しくお願い申し上げます。

はじめに、今年度、我国の景況ですが、輸出や設備投資の動向など、いろいろな要因によりますが、一言でい

えば、全体的に底堅い内外需を背景に、「景気回復が続く見通し」となっております。

また、東北におきましても、「緩やかな回復基調になる」と見込まれております。

このような状況の中での、われわれ情報サービス産業を巡る環境について、あらためて整理しますと現在のITは、ご承知のように二つの潮流（領域）が、対比して語られることが多い。すなわち、

- ①「現在の社会を動かしているIT」すなわち、「安定・確実かつ高品質で 基幹業務を実現するIT」
- ②「今後の社会を動かす、デジタルトランスフォーメーションのIT」すなわち、「最先端技術を駆使し、スピード、低コスト、利便性で、新たなビジネス価値を

## 実現するIT」

この二つ、意味するところは少しずつ違うと思います  
が、いろいろな言い方、呼び方がされます。

お客様の視点でいえば、

- ・「守りのIT」と「攻めのIT」と重なるでしょうし、
- ・コンサルのカッコいい言葉でいえば、
- ・「モード1」と「モード2」
- ・SORとSOE

ということでしょうか。

いずれにせよ共通するのは、お客様の投資が、①の基  
幹的ITが一段落するにつれ②に重点が移り、進化する  
クラウド、IoTやAI等を徹底活用する「ビジネスのデジ  
タル化」にシフトしつつある、という構図です。

昨年度も申し上げたことですが、この傾向はより進ん  
だように思います。

そのような環境認識を踏まえ、我々地域のIT事業者  
が描く未来はどのようなものでしょうか。

昨年3月に作成したMISA「中期事業計画（29～31  
年）」いわゆる「MISAビジョン」とその具体的な展開  
が、それらに対応して行く我々の意思表示であると考え  
ます。

我々IT事業者は、「社会を支える基幹システムの担い  
手」であると同時に「社会を変えるデジタルビジネスの  
担い手」でもあるべきで、それらを通し、「MISAビジョ  
ン」（地域の明日を担う魅力あるICT産業）が実現でき  
るのではとっております。

そして、担い手であり続けるために、人材の確保・育  
成（当然、技術も含め）に全力を挙げなければいけない、  
ということが、我々の共通認識になっております。

そうして展開した昨年度の施策の結果は、詳しくは  
第一号議案で報告いたしますが

- ・人財確保策としての「産学官連携体制」の定着
- ・当協会の主たる事業である「人材育成研修」の充実

・企業力強化に向けた各種セミナーや新ビジネス事業の  
推進

・会員の拡大

等、着実な成果があったものと自負しております  
でございます。

これも、会員各位の献身的な努力と宮城県、仙台市等  
官学のご協力があったからこそと、心から感謝を申し上  
げます。

さらに本年度は、これも第4号議案で報告しますが、  
新たに

・非情報系や女性等の新入社員の確保・育成

・特に技術に強みを持つ人材育成

等を加え、重点課題でもあります人材確保・育成に積  
極的に取り組んでまいります。

そうすることによって、皆様にとっての「会員価値」を、  
より高めてまいります。

一昨日、JISAの総会、交流会に出席しました。

思いがけず、東京および地方の多くの会員からかけら  
れた声は、「MISAはずいぶんいろいろ取り組んでます  
ね。すごいですね」でした。

確かに、会員数はおかげさまで全国3位。ボランティ  
アベースの多岐にわたる自律的な委員会活動は、誇るに  
たるものです。しかし、今年度さらに充実した活動が計  
画されていることを考えると、推進体制もひとつの限界  
にきているのでは、とも思えます。

そのため、事務局を強化し、委員会体制も一部見直し  
しております。さらに、各委員会活動への会員の新規参  
加や、委員会相互の一層の連携強化による新たなシナ  
ジー効果などが改めて求められているところです。

皆様方からの一層のご理解・ご協力を賜りますよう、  
よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ですが、開会にあたっての挨拶といたします。

## MISA 第7回通常総会 来賓挨拶

宮城県 経済商工観光部 次長 高橋 裕喜 氏



早坂会長を初め役員の皆様、そして会員企業の皆様にお  
かれましては、県政の推進に格別のご理解・ご協力を  
賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。

国では、第4次産業革命をはじめとする将来の成長に

資する分野における大胆な投資を官民連携して進め、未  
来への投資拡大に向け未来投資戦略を策定しています。  
現在策定が進められている未来投資戦略2018の素案で  
は、第4次産業革命技術により、生活・産業・地域・コ

コミュニティ・人材などに変化がもたらされ、経済社会のあらゆる場面で大きな可能性とチャンスを生む新たな展開、Society5.0の実現が期待されるとされております。

こうした第4次産業革命の進展に向けては、基盤システムや技術への投資、人材育成、産学連携がますます求められております。本県では、これまでの富県宮城の実現に向けた歩みを着実に将来につなぎ、本県経済基盤の再構築を図ることとしております。

早期の産業復興を目指すとともに、復興需要の終息後を見据えた新たな課題に対応し、地域経済の更なる成長を目指していくためには、ICTやIoTは欠かせない技術であり、県内の情報サービス産業の皆様には、その担

い手として大いに活躍していただくことを期待しております。

また、長期的なIT技術者の不足や人材の首都圏への流出などにより、県内の情報サービス産業を支える人材の確保が課題であると認識しておりますので、県としても、IT人材採用・育成支援事業などを通して人材の確保・育成に向けた支援に取り組んでまいります。

今後も、貴協会及び会員企業の皆様とは、震災復興、富県宮城の実現に向けた取り組みの重要なパートナーとして、なお一層連携を図ってまいりたいと考えておりますので引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。(宮城県知事代読)

## MISA 第7回通常総会 来賓挨拶

東北経済産業局 地域経済部 部長 蘆田 和也 氏



宮城県情報サービス産業協会第7回通常総会が滞りなく終了されましたこと、お慶び申し上げます。

また、本日は総会から参加させていただきましたが、MISAの事業活動について全国の協会活動の中でも、活発に展開されていることに対し改めて実感させていただきました。

MISAの皆様が地域経済に貢献、寄与していただいていること、これからも寄与していただけることに対して、会長、役員の皆様、そして会員の皆様のご尽力に心より敬意を表する次第でございます。

今、この分野は、IoTやAI等の技術の進展により、ビジネスそのものがデジタルインフォメーションで変わっていく流れにあります。東北のユーザー企業の皆様にはこれから大きく変わるチャンスだと思っております。

本日の講演で、林先生からデジタルレイバーを使いこなすんだということで、それをどんどんやっている地域が出てきているというお話いただきました。そういう意味ではこの東北、宮城の多くの事業者がその一歩を進めていくということがすごく大事ではないかと思っております。

本日は私共の「IT導入補助金」と「コネクテッドインダストリーズ税制」の2点についてお話しさせていただきます。

まず「IT導入補助金」ですが今年は上限額は低いです

が昨年度の5倍となる500億円を計上しております。これはより多くの事業者に利用していただきたいということで13万件の採択を予定しておりましたが、第一次公募では、全国で約1万件、東北で400件、宮城県では110件という状況です。6月20日から第二次公募が始まりますが東北では少なくとも1万件の導入を目指したいと思っております。そのためにはまずベンダーの皆様が登録いただき、使える立場になってユーザーに商品をアピールし、このIT導入補助金を大いに活用していただける状態にさせていただけたらと思っております。

もう一点は「コネクテッドインダストリーズ税制」、コネイン税制ですが、これはIoT投資を促進いただくということで、サイバーセキュリティが完備したデータ連携などを含め、ロボットシステム等導入いただいた場合、特別償却30%、または税額控除3%、賃上げを伴っている場合5%の税額控除の制度でございます。これは2年間、平成32年度までの措置ですけど、大型投資をされるユーザーさんも一緒になってご利用いただければと思っております。

結びになりますけど、MISA会員皆様のご発展と、MISAの活動がますます隆盛、そしてそれが東北全体の元気に繋がることを祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

# MISA 第7回通常総会 来賓挨拶

仙台市 経済局 次長 岩城 利弘 氏



本日は、通常総会が盛会の内に終了したとのこと、心よりお喜び申し上げます。

本来であれば、仙台市の郡 和子市長が参りましてご挨拶するところかと思いますが現在、仙台市議会が開催中ですので、市長からくれぐれも皆様によりしくお伝えするように申し付けてまいりましたので代わってご挨拶させていただきます。

平成8年のMISA発足以来、22年間の長期にわたり、会長はじめ皆様には、本市そして県内のIT産業の振興と地域経済の発展にご尽力いただいておりますことに心からあらためて感謝を申し上げます。

先ほど、市議会が開催中と申し上げましたが、今回の議会には成長産業の支援といいますか、中小企業の方々が計画を策定する、そして労働生産性を向上させるために機械設備ですとかソフトウェアを導入した場合にその分の固定資産税を3年間ゼロにする市政条例の改正案をご審議いただいております。恐らく無事可決されるものと思っておりますが、この制度によりまして、IT導入補助金ですとか、ものづくり補助金の優先採択を受けられ

るメリットもございますので、市内の中小企業の皆様のIT導入の後押し、そして皆様のビジネスチャンスに貢献できるように期待して制度を運用していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それから、昨今の経済情勢を考えますと、IT産業はもちろん、どの分野も人材の確保が課題となっております。経済を成長させるためには、人材の確保・育成が大事でございます。我々も皆様と共に東北各県の教育機関を廻るなど、さらに力を入れてまいりたいと思っております。

やはり、優秀なIT技術者の方々が、この仙台に集いましてIT産業を盛り上げていく、そして、地域のIT企業の皆様により様々なイノベーションを創出し東北の経済を牽引していく、そのような仙台市を目指し我々職員も頑張りたいと思っておりますので引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、MISAの益々のご発展そしてご参会の皆様のご発展・ご健勝を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



## 第7回通常総会記念講演（一部抜粋）

## 働き方革命・日本型RPAの実態と今後の方向性



RPA エンジニアリング株式会社 執行役員  
RPA テクノロジーズ株式会社 セールス&デリバリー部長 **林 淳一 氏**

## 「注目されるRPA」

RPA (Robotic Process Automation) とは、第四次産業革命の中では釈迦に説法ですが、ビッグデータ、IOT、ロボット、VR、自動運転等が出てきています。その中で、RPA、AIといったロボテック・プロセス・オートメーションは、認知技術、ルールエンジンとか機械学習、人工知能等を活用して主にホワイトカラーの業務効率化や自動化となります。

RPAは決してツールではなく、デジタルレイバーを使った業務の効率化への取組といえます。つまり、人間にとって代わるのではなく、人間の業務の一部を代行してくれるデジタルレイバーによって業務の効率化を行っていきましょうという取組みということです。

国家レベルの問題である、将来不足になるであろう

2200万人の労働不足に向けて足りなくなる労働力をRPAで代替していこうというのが、RPAの本質的な目的だと考えています。

## 「RPAの取組」

RPAのツールというのは、人と情報システムの間に入るデジタルレイバーを生み出すものです。つまり、ソフトウェアなのですが、これを情報システムと捉えないで、人間と一緒に働くデジタルレイバーを生み出すツールであるという位置づけです。

例えば、人であればひたすら作業します。労働時間8時間、週5日、当然ケアレスミスもしますし、いろいろ雇用問題も発生します。これに対しデジタルレイバーというのは、人が8時間かかってやる仕事を30分でやることも可能ですし、24時間、365日働きます。文句を言わず永遠に働くこともできます。

お伝えしたいメッセージは、今のRPAのツールは定義したプロセスしかできないということです。人間に例えると、実直に働きますが24時間、365日、言われたことを必死にケアレスミスもなくやる、そういう労働力が入ってきたときに、こいつに何をやらせるのかというのがRPAの取組だと思います。

## 「RPAの市場」

RPABANKによりますと、2017年6月までで毎月35件ベース、12月までは月40件ベースで増加しているとあります。2018年12月までは多分1500件を上回るペースでRPAの市場が成長していくと予想しています。しかし、まだまだ導入数が少なく日本全国のすべての業種、業務、業態、企業規模のマーケットを見たときに一部しか入っていないのが現状です。そんな中で、半期200%以上の成長スピードで導入が進んでいる業態もございます。売上500億以上の企業が問合せベースで43%、導入が61%の実態もございます。これは売上500億以上の企業でないとなかなか使えないというメッセージではなく、まだまだこのレンジのところしか





入っていないということですし、市場の可能性が十分あるということです。

### 「RPAブームになる理由」

一つは、単純なマクロであることです。ツールによっていろいろあるかも知れませんが非常に簡単なものであり、その中から素晴らしい労働力、つまり、デジタルレイバー、新しい労働力が生まれるということです。リードタイム、品質、コストも最大化出来ますし、業務変化にも強いです。

何かシステムを作ろうとした時に、業務に変更が発生したら、もう一回要件定義、設計を変更し、システムを再構築するというのではなく、今、目の前で動いてい

るデジタルレイバーにもう一回仕事を簡単に教え直せば、すぐに業務の変化に対応することが出来ます。これが、RPAのツールの必要な機能であり、簡単にロボットも作れるということです。

もう一つは、24時間、365日、決して仕事を止めません。途中で疲れて仕事を休んでしまうこともないですし、労働問題も無く、36協定も無関係です。労働力としてどう使うか、ハードルが低く、劇的な効果があることに気付いてきている。これがRPAがブームになっているということです。

### 「RPAの最近の動き」

商用型の提供ということで、全国でロボットをシェアしようという動きが今進んでいます。実際には、広島のリボットセンター、徳島のAIRPAセンター構想、長崎のRPA推進協議会というのがスタートしています。これは、まさに地産地消型であり、個々にロボット環境を持つのではなく、その地域が中心になりロボットをシェアして使っていくとする動きです。宮城県においてもそういう動きがあるかどうか存じませんが、中小企業の方々にロボットやデジタルレイバーを進行するに当たっては、地産地消型のロボットをシェアするモデルというものも十分考えられるのではないのでしょうか。

MISAでは、ホームページ・Facebookページより情報発信を行っています。是非ご覧ください！

#### MISA ホームページ



ホームページURL <http://misa.or.jp/>

#### MISA Facebookページ





FacebookページURL <https://www.facebook.com/miyagi.misa>

事務局からのお知らせ

## 『平成30年度みやぎ認定IT商品』認定される

宮城県は、毎年、県内のIT企業が開発する優れたソフトウェア商品を「みやぎ認定IT商品」として認定し、補助金の交付等の支援を実施していますが、平成30年度の「みやぎ認定IT商品」に当協会会員企業から申請した下記商品が認定されました。

なお、正式な認定証授与式はMISA賀詞交歓会（31年1月）で執り行われる予定です。

商品名／事業所名	商品の概要
<p>はたらく基本 「ほうれんそう君」 コンピュータシステム開発 株式会社</p> 	<p>『新入社員・中途採用者向け社員基礎教育支援システム』 新入社員・中途採用者向けの入社後の「仕事の基本習得」をするツールです。 1年間のカリキュラムを通して、上司とのコミュニケーションを強化し、自分の成長を実感させ、当たり前のこと柄をきちんと行える社員に成長させます。 また、活動記録の提出・評価を通じて部下の成長に対する上司の意識を高めることができます。</p> 

### [主な認定商品への支援]

- ・ 専門家による販売促進計画作成支援  
⇒ 計画に位置付けられた販促経費の一部について補助金を交付
- ・ ビジネスマッチ東北への合同出展（みやぎ認定IT商品ブース）
- ・ 宮城県HPでの紹介



事務局からのお知らせ

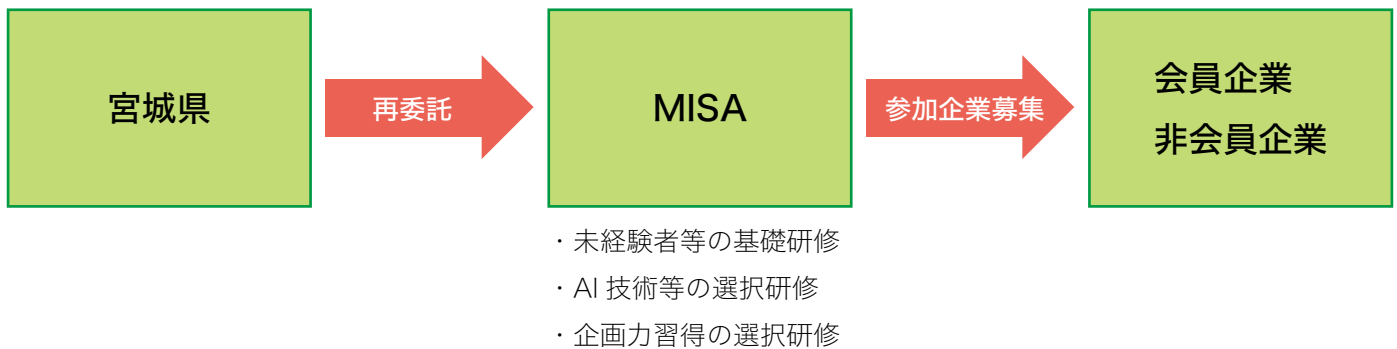
## 宮城県より『平成30年度地域高度IT技術者育成業務』を受託

厚生労働省では、地域における人手不足が深刻化し、人財確保が喫緊の課題となっている中、人手不足分野を抱えている業種において、地域の創意工夫を生かした人材育成の取組を通じ、中小企業等への人材確保・定着を支援する事業を展開中です。

本事業は、国からのコンテスト方式を選定した都道府県への委託により実施されるもので、平成30年度は宮城県が、物流・ものづくり・ITの3分野での人材育成・確保事業が採択され、当協会はIT分野（平成30年度地域高度IT技術者育成事業）を受託し、9月より事業を開始しました。

事業内容は、IoTやAI等の新技術の登場により、今後ますますICT利活用の高度化や多様化が予想され一層の人手不足への懸念や、地域経済の持続的成長のための人材の育成と確保をするための対応として実施するものです。

### <スキーム>



### <スケジュール>

研修内容	9月	10月	11月	12月	1月	2月	備考
プログラマー等のIT人材の育成 4コース				→			40日間 20名
第4次産業革命に向けた技術者の育成 7コース	→						11日間 60名
自ら顧客やビジネスを創出できる人材の育成 3コース				→			15日間 24名

「プログラマー等のIT人材の育成」4コースについては、プログラミング未経験の中途採用者（第2新卒含む）を受講対象者としていますが、社内におけるキャリアパス（間接部門から技術部門への人事異動、メインフレームからWeb系への転換など）を目指す方も受講対象ですので、スキル転換をお考えの方は是非ご参加下さい。

事務局からのお知らせ

## 『働き方』が変わります!! 2019年4月1日から働き方改革関連法が順次施行されます!

## Point① 施行: 2019年4月1日~ ※中小企業は2020年4月1日~

## 時間外労働の上限規制が導入されます!

時間外労働の上限について、**月45時間、年360時間**を原則とし  
 臨時的な特別な事情がある場合でも年720時間、単月100時間未満（休日労働含む）  
 複数月平均80時間（休日労働含む）を限度に設定する必要があります。

## Point② 施行: 2019年4月1日~

## 年次有給休暇の確実な取得が必要です!

使用者は、10日以上有給休暇が付与されるすべての労働者に対し、  
**毎年5日、時季を指定**して有給休暇を与える必要があります。

## Point③ 施行: 2020年4月1日~ ※中小企業は2021年4月1日~

## 正規雇用労働者と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差が禁止されます!

同一企業内において、正規雇用労働者と非正規雇用労働者（パートタイム労働者、有期雇用労働者、派遣労働者）の間で、**基本給や賞与などの個々の待遇ごとに**不合理な待遇差が禁止されます。

## 委員会報告

## 芋煮ケーション2018の開催

グローバル  
ビジネス  
委員会

毎年恒例MISA主催による新・就活イベント「芋煮ケーション」を開催致します。  
 「芋煮ケーション」とは、学生と企業の経営者や採用担当者が芋煮・BBQを通してコミュニケーションを図り、会社説明会などでは聞けないような本音を交わせる新しい形の就活イベントです。

昨年に引き続き「みやぎグローバル化」の一環として、外国人留学生の参加枠を設けておりますので国際交流の場としてもご活用頂けます。

午前の部ではIT業界の最新情報を伝えるセミナーを行います。学生だけではなく企業の皆様にも満足頂ける内容となっております。

午後の部では学生と企業の交流を図る芋煮会を行います。学生との交流をお楽しみください。

毎年、参加企業様から「芋煮ケーションで会った学生がインターンと採用面接に応募してきた」との声を頂いております。



## &lt;開催日&gt;

平成30年10月6日（土）

## &lt;会場&gt;

秋保リゾートホテルクレセント森林スポーツ公園

## &lt;定員&gt;

企業側 50名 / 学生側 50名

## &lt;参加費&gt;

MISA会員：3,500円

## &lt;申込先&gt;

募集Webページの申込フォームから送信ください。

([http://www.misa.or.jp/?page\\_id=11126](http://www.misa.or.jp/?page_id=11126))

## 委員会報告

## 第34回MISA親睦ゴルフ大会

経営  
委員会

■開催日：平成30年4月14日(土)

■場 所：「仙台クラシックゴルフ倶楽部」

第34回MISA親睦ゴルフ大会は、過去に宮城テレビ杯ダン  
ロップ女子オープンの特ナメント会場として馴染みのある、  
「仙台クラシックゴルフ倶楽部」で開催しました。

天候が危ぶまれましたが、雨が降る事もなく、無事に開催す  
る事が出来ました。

14組54名が参加し、日頃の腕前を競い合い和気あいあい  
と会員間の親睦を深めるゴルフ大会となりました。



## 【成績】

	NET	HC	
優勝：日向 輝雄(繰上)	(71.2)	(16.8)	(株)イツ・コーポレーション
準優勝：矢口 亨	(70.4)	(21.6)	東北インフォメーション・システムズ(株)
第3位：久保田秀一	(70.6)	(14.4)	(株)テスプロ
第4位：菅野 直	(71.8)	(7.2)	パイスリープロジェクト(株)
第5位：宗田 雅彦	(71.8)	(13.2)	東北電力(株)



私たち TOiNX (トイックス) は、  
IT で実現する新たな価値を  
地域社会に拡げ続けます。

ともに手を取りあい、  
どんな時も誰よりも近くで、  
しっかり支え、キッチリ守ります。  
さらに、一歩踏み込んだ提案をし、  
期待をこえる感動を届けます。

トイックス  
**TOiNX**  
ITで、感動を、ともに。

東北インフォメーション・システムズ株式会社

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北  
TEL 022-799-5555 (代表) FAX 022-799-5561  
<http://www.toinx.co.jp/>

## カレイ釣り大会in塩釜沖大型漁礁



7月7日(土)に『MISA主催:カレイ釣り大会in塩釜沖大型漁礁』を開催しました。  
 雨・風を気にしない猛者20名が塩釜港より乗船し、1時間を掛けて漁場に向かいました。  
 当日の天候は序盤に小雨、その後は晴れたものの北風が強クウネリが高い修行日和となりました。  
 釣果にあっては、底が取りにくい状況ではありましたが大物の入れ食い状態で皆さん楽しまれたようです。  
 そして・・・結果は、(株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー様の上位独占♪で幕を閉じました。

## 【成績】

- ☆優勝： 53cm：阿部 哲也 (株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー
- ☆2位： 43cm：多田 良光 (株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー
- ☆3位： 42cm：鈴木 雄也 (株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー
- ☆えびす屋賞：41cm：菊地 弘毅 (株)ミライト



## 委員会報告

## 第14回MISA会長杯フットサル夏大会 (MISAリーグ)

福利厚生  
委員会

第14回MISA会長杯フットサル夏大会→MISAリーグを6月30日(土)リベラ鶴巻で開催しました。

今大会から大会名をMISAリーグとし、オープンクラスをM1(エムいち)、ピギナークラスをM2(エムに)、スーパーピギナークラスをM3(エムさん)と呼び変えて行いました。3つのクラス分けも定着してきており、本番に先立ち6月13日にはキャプテン会議を開催し各クラスの昇格・降格ルールのもと、M1、M2、M3のカテゴリーを決定しました。今回はM1、M2は8チーム、M3は6チームとなり、22チーム260名の参加による戦いとなりました。試合は、各カテゴリーで熱戦が繰り広げられる中、各チームの実力が伯仲してきておりPK戦で勝敗を決める試合も多く出ました。結果はM1が東北インフォメーション・システムズチーム、M2がクロスキャットチーム、M3がフリースタイルチームの優勝で終了しました。試合後の豪華抽選会は全チームに商品が行き渡るようにし、地元プロフットサルチーム「ヴォスコレ仙台」のフリーグ観戦チケットを全員に配布するなど、大会の更なる盛り上げのため試合以外の場面でも工夫を図りました。

秋の大会は10月27日に開催を予定していますので、今大会で悔しい思いをしたチームにおいては、夏場の練習を励み、是非、栄冠を勝ち取っていただきたいと思います。引き続き、多くのチームの皆さんに参加いただきますようお願いいたします。福利厚生委員会は益々がんばります。



## ◆M1 結果

- 優勝 東北インフォメーション・システムズ(株)
- 準優勝 コンピューターマネージメント(株)
- 3位 (株)Minoriソリューションズ
- 3位 (株)SRA東北
- C優勝 (株)NID東北



M1 東北インフォメーション・システムズチーム

## ◆M2 結果

- 優勝 (株)クロスキャット
- 準優勝 富士通エフ・アイ・ピー(株)
- 3位 (株)SJC
- 3位 (株)プロトソリューション
- C優勝 (株)アート・システム



M2 クロスキャットチーム

## ◆M3 結果

- 優勝 (株)フリースタイル
- 準優勝 通研電気工業(株)
- 3位 (株)アテネコンピュータシステム
- 4位 (株)アイエスピー東北



M3 フリースタイルチーム

## 『スポーツ × IT × 地域 アイデアソン』

11月17日(土)に、ITを活用した新たな価値の創造、他業種との課題共有と人材交流・創発をねらいとして、アイデアソンイベント(※)を開催します。

このイベントは、地元プロスポーツチームの楽天イーグルス、ベガルタ仙台の関係者にご参加いただき、地域密着への取組や今後の課題などを共有した上で、地元ITエンジニアたちがグループに分かれ、他業種・他分野とのアイデアの掛け合わせによって、新たな価値や地域資源を生み出す試みです。

ファシリテータには「東北風土マラソン&フェスティバル」発起人の竹川隆司氏を招いて、アタマをやわらかくして面白いアイデアが湧き出るようサポートします。

MISA会員企業ならどなたでも参加可です。奮ってご参加ください。

## ＜イベント概要＞

- 日 時：2018年11月17日(土) 9:30~18:00
- 場 所：EARTH BLUE 仙台勾当台(旧仙台北辰ビル)5F 会議室  
仙台市青葉区上杉1丁目6-10
- 参加者：MISA会員企業の方 約20名
- 参加費：無料

※アイデアソンとは、多様な参加者が集まり、特定のテーマに対する解決策(アイデア)をグループ単位で作り出すワークショップです。



「スポーツ」と「地域」  
もっとつなごう「IT」で!

スポーツ × IT × 地域  
**IDEATHON**  
アイデアソン

やわらかアタマであらたな価値創造へ!

MISA事業共創委員会では、ITを活用したあらたな価値の創造、他業種との課題共有と人材の交流・創発をねらいとして、アイデアソンイベントを開催します。「こんなものがあつたらいいな!」といったあなたのアイデアが活用されるかもしれません。自由な発想やアイデアをお待ちしています。ぜひ、奮ってご応募ください。

※アイデアソンとは、多様な参加者が集まり、特定のテーマに対する解決策(アイデア)をグループ単位で作り出すワークショップです

■日 時：2018年11月17日(土) 9:30 ~ 18:00  
■場 所：仙台市青葉区上杉1丁目6-10  
EARTH BLUE 仙台勾当台(旧仙台北辰ビル)5階 会議室

主 催：宮城県情報サービス産業協会(MISA)事業共創委員会



スポーツ × IT × 地域  
アイデアソン  
**IDEATHON**

タイムスケジュール	
9:20	開場
9:50	イントロダクション
10:20	ゲスト トークタイム
11:35	昼食
12:05	少人数プレスト
13:05	アイデア発表、投票、グループ分け
14:05	休憩
14:20	グループワーク
16:50	グループ発表(10分/グループ)
17:30	表彰(総評)
18:00	終了

**対 象** MISA会員企業であれば、どなたでもご参加できます。スポーツの知識も興味も不要です。

**内 容** 楽天イーグルス、ベガルタ仙台の地域連携や広報の関係者の方々に参加いただき、現在の取組みや、今後の課題と想っていることなどを共有いただけます。参加者はグループに分かれ、テーマを絞り、ITを活用しスポーツと地域が共創して実現可能なアイデアを練り上げ、グループで発表していただけます。

**参加費** 無料(昼食付)  
※終了後、希望者で懇親会(有料4,000円程度)を予定しております。

**GUEST**

**株式会社 楽天野球団**  
ボールパーク本部 地域連携部 副部長 松野秀三氏

**株式会社 ベガルタ仙台**  
運営・広報部 広報課長 庄子勝裕氏

**ファシリテーター：竹川隆司氏**

国際基督教大学卒業後、野村證券にて国内、海外(ロンドン)勤務を経て、その後独立。2008年より、東京とニューヨークにて起業。経営、2014年に帰国後は、同年4月に東日本大震災の復興支援活動で「東北風土マラソン&フェスティバル」を立ち上げ、社団の代表理事にも就任。以後2018年までに毎年5回開催し、「スポーツ振興大賞」など受賞多数。2018年、宮城県仙台市に東北地方の起業家支援施設「INTILAG東北イノベーションセンター」を設立、同施設内に自ら株式会社zero to oneを立ち上げ、同社代表取締役として、AI人材育成など教育ビジネスを推進中。2006年ハーバード大経営学修士(MBA)。

一般社団法人IMPACT Foundation Japan代表理事  
一般社団法人東北風土マラソン&フェスティバル代表理事  
株式会社zero to one代表取締役CEO

お問い合わせ・お申し込み  
宮城県情報サービス産業協会(MISA)事業共創委員会 事務局  
お問い合わせメールアドレス [ideathon.misa.1117@gmail.com](mailto:ideathon.misa.1117@gmail.com) お申込み専用サイト <https://goo.gl/forms/HgInKLY4Jsum3E2>





会員企業

NEW

技術情報 Part4

PROTO SOLUTION CO., LTD.

PROTO Solution

## ABOUT US

プロトソリューション仙台社は、ITインテグレーション事業として、システム開発・ITインフラ構築など、テクノロジーを駆使したソリューションの提供を行っています。

当社の得意な分野はシステム開発、ITインフラの構築です。

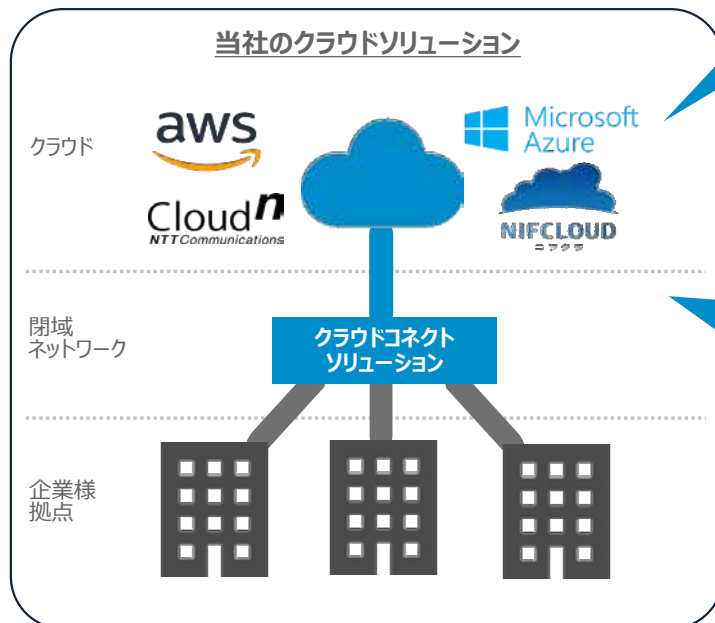
様々なITアーキテクチャの中から最適なソリューションをご提案出来る技術力を保有しています。

今回はクラウドソリューションサービスをご紹介します。お客様のニーズに合わせた最適なご提案をさせていただきます。

## ITインフラ構築：クラウド構築から接続サービスをワンストップでご提供

当社はクラウドソリューションサービスとして、第1にクラウド構築、第2にその構築したパブリッククラウドをお客様の拠点と接続するサービス「クラウドコネクトソリューション」をワンストップでご提供致します。

### 当社のクラウドソリューション



### サービス1：クラウド構築

クラウド基盤を検討しているお客様に対して既存システムとの環境調査をし、現状の課題を整備するとともに、導入効果の高いクラウド基盤プラットフォームの基本設計および構築サービスを提供します。

### サービス2：クラウド製品接続サービス

上記構築したクラウド環境にとどまらず、既存にクラウド環境お持ちのお客様へコストと安全性、短納期を実現したクラウド製品接続サービス。フレックス光に加入するだけで、AWS等のクラウドに閉域NW経由で直接接続できるサービスです。

### フロントエンドテクノロジーによるWEBサイト開発

ITインフラ構築のサービスを紹介しましたが、当社ではシステム開発分野で培った技術力の保有だけでなく、SPA (PWA) ×APIによる高速フロントWEBサイトの開発実績を持っています。新たな技術を駆使した開発についてのご相談も承ります。



さらに詳しい情報はお問い合わせください

株式会社プロトソリューション  
仙台本社 ITインテグレーション部門



022-781-9047

## 新入会員紹介 (平成30年4月1日以降の入会)

正会員-入会 賛助会員-入会

会員数 (正会員・・・160社 賛助会員・・・59社)

入会日	会員名 (代表者名)	住 所 TEL・FAX
4月1日	ソフトバンク・テクノロジー(株) (代表取締役社長 阿多 親市)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1 仙台興和ビル13F TEL 080-4651-5572
6月1日	(株)タカインフォテクノ (代表取締役社長 松本 信一)	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-18 TEL 022-794-7754
6月8日	(株)フォー・ジェイ (代表取締役 米川 潤)	〒160-0022 東京都新宿区新宿5-6-1 新宿やわらぎビル9F TEL 03-6233-8715 FAX 03-6233-8716
6月14日	(株)アイエンター (代表取締役 入江 恭広)	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-14-10 長沼ビル5F TEL 03-5778-4440 FAX 03-5778-4441
7月1日	エスエスアイ(株) (代表取締役社長 高橋 仁)	〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-28-22 プレジデントシティビル3F TEL 022-371-7141 FAX 022-371-7158
9月1日	朝日システム(株) (代表取締役 博多 義雄)	〒960-8154 福島市伏拝字台田1-2 TEL 024-539-8890 FAX 024-539-8799
9月5日	キャル(株) (代表取締役 岩崎 弘)	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-2-26 小田急仙台東口ビル6F TEL 022-742-1277 FAX 022-299-1290
5月1日	(株)ユアソリューションズ (代表取締役 庚 炳徳)	〒989-3207 仙台市青葉区中山台西8-10 TEL 022-725-5083 FAX 022-725-5083
7月1日	ジャパニアス(株) (営業所長 嵯峨 満)	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-10-3 仙台キャピタルタワー2F TEL 050-6865-3891
9月1日	(株)クレティセゾン (東北支社 課長 長谷川 博一)	〒980-0021 仙台市青葉区中央3-1-24 荘銀ビル7F TEL 022-222-6132 FAX 022-265-4643
9月13日	SYSLAB (個人事業主 加藤 幸恵)	〒981-1247 名取市みどり台2-12-4 TEL 022-395-9488 FAX 022-395-9488

(敬称略)

## MISA フォトコンテスト結果報告

MISA 会報 44 号フォトコンテストに、会員企業の 11 名の方より 28 作品のご応募をいただきました。MISA 事務局と広報委員会の投票による選考結果でグランプリと準グランプリが決定いたしました。グランプリ作品 1 点には商品券、準グランプリ作品 2 点と佳作 5 点には QUO カードがそれぞれ贈呈されます。

グランプリ

表紙に  
掲載

「紅葉とロケット」 広報委員会 高橋 純司

準グランプリ

「薄い夏霞に浮かぶ島々」  
(株)トレック 柴崎 健一

準グランプリ

「夏のお釜②」  
(株)アイエスピー東北 保坂 正樹

